

政治家のイメージ、現在と今後、前編

友人達に投票率の低さや、何故、選挙に行かないかを確認すると「政治家は、表で良いことを言い、裏では金や汚れ仕事にまみれている」イメージを持たれている事に気づきます。子供達の将来の夢に、公務員はあっても、政治家はありません。こんな政治が現在まで続いている状態は異常です。議員は、手の届かない偉い人でなく、いつでも声が届く身近な存在であるべきです。声が届くからこそ、みんなの夢を思い描き、実現に至るのです。また、友人達に話を聞くと、議員は「弁論の力がある人がなるもの！」とイメージをする方が多いです。私も「口の達者なヤツ」と知人の多くに言われますし、弁論の力はあった方が良いのかも知れません。ただそれよりも、少なくとも市議会議員に必要な資質は「市民の皆さまに市政への関心を高める意識があるか」「市民の皆さまに寄り添い、議会や提言により解決しようとしているか」の方が重要です。7年間市議会議員をさせていただいていますが、本当に問題を抱えている方の陳情や、機会がありお話しする事に恵まれた方以外、市議会議員と接触する市民の方は本当に少ないです。そして、市民の皆さまの多くは、仕事や家事・育児等に忙しい事もあり「陳情をする。終わり。」という一方通行のやりとりを望まれています。また、私に投票して下さった2000票と比較して、実際にツイッターやフェイスブック、メール等で質問をしていただけの方は10分の1程度だと感じます。これらの課題を解決するためにはどうすれば良いでしょうか。難しい課題だと重々承知しております。ただ、いち市議会議員としては「ハードルが高いから無理でしょ。」と終わるわけにはいきません。…という訳で、紙面の都合もありますので、次回、改めて述べます。市議会や市議会議員という狭い世界での成功・失敗に一喜一憂して、気づかないうちに易きに流されているのではないかと…試行錯誤の毎日です。ただ、やはり言いたい事はひとつです。みなさんで「市川市の未来」を思い描き、話し合ってください。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成30年9月25日

増田好秀